

岐阜大付小中に グローブを寄贈

ヤマカ木材と
大垣西濃信金

住宅メーカーのヤマカ木材(岐阜市城東通)と大垣西濃信用金庫は22日、岐阜市加納大手町の岐阜大付属小中学校にソフトボール用グローブ13個とボール5個(10万円相当)を寄贈した。発行手数料の一部を企業が指定した学校などへの寄付に充てる同金庫の地域貢

献型私募債「絆」を活用。山田重貴社長(50)の母校で、家族や親類にも出身者が多いことから、寄贈先として選んだ。

贈呈式では、山田社長と同金庫の高橋徹岐阜支店長が丸山早苗統括校長に目録を渡した。山田社長は「児童、生徒の皆さんに学校生活を楽しんでもらいたい」

と話し、丸山統括校長は「授業で使うための道具が傷んでいた。子どもたちはわくわくしながらソフトボールに取り組むと思う」と感謝を伝えた。(岡部導智賢)



グローブとボールを寄贈した高橋徹支店長(左)と山田重貴社長(中央)＝岐阜市加納大手町、岐阜大付属小中学校